



宇久中だより2017

佐世保市立宇久中学校 学校通信
(平成30年3月2号)
文責 校長 田雑 健
平成30年3月9日(金)発行

学校教育目標 : ふるさを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる生徒
めざす生徒像 : 素直で心豊かな生徒・自ら考え、主体的に学ぶ生徒・強くたくましい生徒
宇久中生徒の5励行 : 心のこもったあいさつをする 授業に集中する 生徒会活動や部活動に励む
大きな声で校歌を歌う 清掃活動に力を入れる

来年、再来年の今頃は？

天候がやや心配でしたが、7日(水)、8日(木)と2日間にわたる長崎県公立高校一般入試が終了しました。



近づいてから、あわてなくていいように

3年生の皆さん、ご苦労さまでした。生まれてはじめての「入試」という人がほとんどだったでしょうから、緊張したことと思います。もし、「ああ、こんな準備をしておけばよかったなあ」ということがあったら、今のうちに後輩に伝授しておいてください。

さて、1・2年生の皆さん、先輩方の受験への取組を見て、来年、再来年への思いは高まったでしょうか。一人一人に将来の夢や憧れ、志があるでしょうから、当然その実現を図る道筋も各々で違ってきます。学年に応じて進路学習も進めてきたことと思います。「自分の夢」



神様、仏様にお願いするのも結構ですが・・・

に近づくために、計画を立て少しずつでも実践する。決して早すぎるといことはありません。学問に近道はありません。最後に物を言うのは1日1日の積み重ね。次はあなたの番です。



最後は「努力に勝る天才なし」

3月14日に向けて

高校入試が終わると、いよいよ卒業式です。何度も言うようですが、月日の経つのは本当に早いものですね。

12名の3年生は立つ鳥活動をはじめ、中学校生活を締めくくる取組に入ります。思い残すことがないように、限られた時間ではありますが、しっかり取り組んでください。

一方、1・2年生には3年生に安心して、そして気持ちよく巣立ってもらうために、たくさんの仕事があります。卒業式に向けての準備も一つですし、委員会活動などを先輩から引継ぎ、きちんと運営していくことも大切な一つです。他にどんなことをすべきなのか考えながら、3年生との時間を大切にしてください。

3年生の皆さん、残り少ない中学校での生活を満喫するとともに、新生活のスタートを気持ちよく切るためにしっかりと健康管理を！ もちろん、緊張が解けてふざけ「怪我」したということがないように。安全管理も怠りなく。



宇久中学校 第71回卒業証書授与式

3月14日(水) 10時 開式
本校体育館にて

ぜひご来校ください。



3月・4月の行事予定

14日(水) 本校第71回卒業証書授与式

16日(金) 宇久小学校卒業式

23日(金) 修了式、離任式

4月

6日(金) 着任式、始業式



9日(月) 本校第72回入学式(午前)
宇久高校入学式(午後)

10日(火) 宇久小学校入学式

火の用心



【春の全国火災予防運動】は7日で終了しましたが、日々油断は禁物です。

「火の用心、ことばを形に 習慣に」

コミュニケーションには 「共感」が鍵になる

『子育てに関しては、本もずいぶん読みました。そのなかで一番覚えているのは、「共感することが大切だ」ということです。

それが役に立ったのは、麻里が小学校4年生のとき。「勉強がつまらない」と言い出したので、「あの本のノウハウを使うのはここだ!」と(笑)「そうだよな、本当につまんないよな。歴史なんか、なんで何千年も前のことを詳しくおぼえなきゃいけないんだ。ピラミッドがありました、でいいじゃないか(笑)」と、まずは1回のみ込むわけです。すると、子どもは「父親はわかってくれた」と安心するんですよ。そのうえで、「でもね、お父さんはそうやって逃げてきたら、大人になって自分がやりたいことが見つかったときに大変だった。麻里が将来何かやりたいときには、いま鍛えた脳が支えてくれるんだよ。だからいま勉強することが大切なんだよ」と。それから、あまり文句を言わなくなりました。

共感ということに関しては、子育てだけではなく、普段のコミュニケーションでもすごく大切だと思いますね。楽しい会話にするためには、まず相手が興味のないことをしゃべっちゃダメですよ。それと自慢話もいやですね。一番いいのはドジった話。そうすると「私もあります!」って共感できるでしょう。それで会話が弾んで趣味が合ったら、どんどん話を深めていけばいいんです。』

『UR PRESS vol 52』より

学校には時折見本として雑誌が送られてきます。その中の一冊にタレントである関根 勤さんのお話が掲載されていました。「子育てで大切なのは『笑い』と『共感』」というタイトルに惹かれて読んでみました。ここでは、そのほんの一部を抜粋してお届けしています。

ちなみに、文中の「麻里」とは娘さんでタレントとして活躍中の関根麻里さんのことです。